

# 低水位管理で決壊のリスクを下げましょう

状況に応じてため池の水位を下げる「低水位管理」を行うことで、ため池の決壊を予防する効果が期待できます。

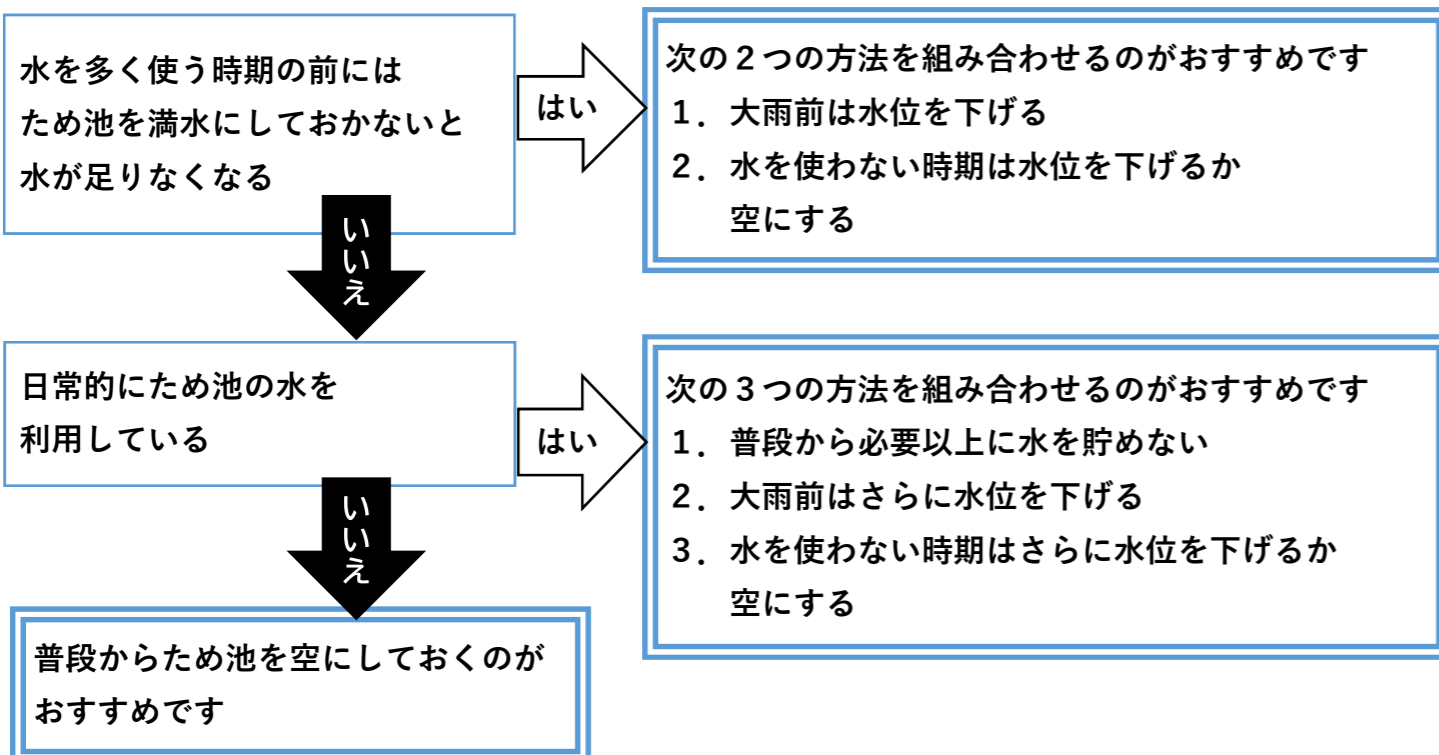
## Q どうして低水位管理をすると決壊のリスクが下がるの？

大雨が降ると、ため池に流れてくる雨水が一気に増えます。

事前に水位を下げておけば **雨水を一時的に貯める容量が確保できる** ので、危険な水位になりにくくなります。

※ 低水位管理はリスクを下げるのに有効ですが、絶対に決壊しなくなる訳ではありません。低水位管理をしている場合も、気象情報に注意して必要な避難行動をとってください。

## Q 具体的にはどんなとき・どんな方法で低水位管理したらいい？



### 【低水管理の注意点】

ため池の貯水位を急に上げたり下げたりすると、堤体への水の浸透によって壊れたり、法面が崩れたりすることがあります。

●水位を下げる時→緊急放流の場合を除き、斜樋栓を上から順に開けていくなど、**徐々に下げる**ようにしましょう。

●長期間低水位管理していた場合→一気に満水まで貯めずに漏水等を確認しながら**徐々に貯水する**ようにしましょう。

### 連絡先

ため池の管理や補修などについてのご相談は下記窓口まで

令和4年4月～【毎週月・木曜】  
広島県ため池支援センター  
広島市中区鉄砲町4番1号  
(082) 502-7478

〇〇市△△部□□課××係  
〇〇市●●町△△  
(\*\*\*) \*\*\*-\*\*\*\*

〇〇農林水産事務所農村整備課  
〇〇市●●町△△  
(\*\*\*) \*\*\*-\*\*\*\*

これだけは  
やろう

# ため池管理



## 堤体の立ち木や雑草は 刈り払っておきましょう

堤体上に草木が繁っていると、漏水やひび割れなどの症状が発見しにくく、また草木の根によってできる隙間が漏水の原因となることがあります

## こういうときは 念入りに見回りを!!

梅雨時期、台風時期前には危険な箇所がないかチェックしておきましょう  
大雨が予期される場合は、事前に水位を下げておきましょう







ため池管理者の  
みなさんへ

# ため池点検のチェックポイント

チェック  
ポイント

1

## 上流側法面

堤体の法面に浸食や陥没、護岸工に損傷が発生していませんか

堤体の浸食



護岸工の損傷



点検位置図



チェック  
ポイント

3

## 洪水吐・放水路

洪水吐や放水路に流木や土砂など流れの妨げになるものがたまっていたり、コンクリートにひび割れや摩耗が生じていませんか

流木などの障害物



ひび割れ・摩耗



チェック  
ポイント

2

## 下流側法面

堤体の法面に亀裂・陥没やはらみ出し、水がしみ出しているところはありませんか

堤体の亀裂・陥没

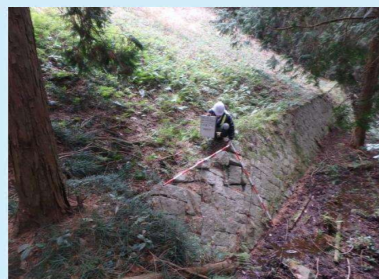
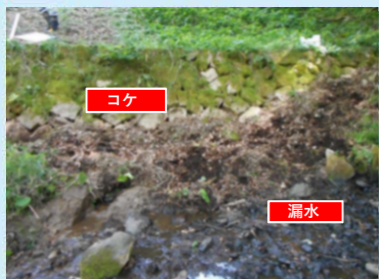


水のしみ出し



堤体下流法尻の石積などにコケ類の発生及び漏水、損傷はありませんか

石積の損傷・漏水



チェック  
ポイント

4

## 取水施設

斜樋の流水障害や堤体との間に隙間が発生していませんか。ため池栓などに錆びや損傷はありませんか

斜樋の変形・損傷



ため池栓の錆び・損傷



斜樋ゲートに錆びや腐食が発生していませんか

斜樋ゲートの錆び・腐食



- ▶ 日頃から見回りや定期的な点検をしましょう。
- ▶ 必要以上に水を貯めないようにしましょう。

- ▶ 地震や豪雨後には、身の安全が確保できた段階で点検を行いましょ。

- ▶ **いつ？だれが？どのように？**点検などを行うか決めておきましょう。

- ▶ 点検の結果、異常があれば補修や障害物の除去などの措置を行いましょ。